

オンライン朝会「それでも今が大事」9/13

校長講話

おはようございます。これは、東京オリンピックで、女子バスケットボールチームが、銀メダルを獲得した時の記念写真です。

決勝戦でアメリカチームに惜しくも負けてしまいましたが、ものすごく満足感にあふれた、いい笑顔をしています。日本が決勝まで残り、最後の最後まで金メダルを目指して戦い抜いたことが、奇跡と言われるくらいものすごく価値があることなのです。



別のインタビューのシーンでは、ある金メダリストが「今まで、辛いこと、苦しいことしかありませんでした。」と答えていました。あんなに強くて有名な選手でも、オリンピックへの道のりは、とても厳しく、好きなスポーツを頑張っ、強くなることの達成感とか、勝つことの喜びとか、そんなことを味わえる生易しいものではないことが、伝わってきました。でも「辛いこと、苦しいことしかなかった」その先に巡ってきたのが、このやり切った満足した表情です。



今、私たち全員を苦しめているのは、コロナウイルスです。「今が我慢の時です」と言われて1年半以上経ちます。ずっと我慢です。緊急事態宣言も更に延長されました。どこまで続くかもわかりません。そんな中、もういい加減にしてと、自由気ままに行動している人たちもいます。この写真は、マラソンの沿道の写真です。

会場はもちろん、沿道の応援も禁止されていたはずなのに、こんなに人がいました。選手を一目だけでもみようと駆け付けた人たちです。



もう1枚、これはパラリンピックのマラソンの写真です。同じように人が集まっています。その中の一人は、「こんなに人がいるとは思いませんでした」とインタビューに応じていました。同じような考えの人たちがこんなにたくさんいるということです。



最後の写真は、6月に昭和記念公園に行った時のものです。楽しかったですね。マスクを外したこの時の笑顔が、当たり前毎日が戻るように、やっぱり「今が大事」です。今週は、3年生と6年生の校外学習があります。10月には、ハヶ岳移動教室、運動会、11月には音楽会があります。

今は、毎日、学校に来ることができて、たくさんの授業があって、先生やお友達と学び合うことができています。とても大切なことです。これからも感染防止を重視しながら、すべて実施する予定です。



でも、富士見丘小学校のみなさんが、先ほどのマラソンの沿道で応援をするような行動をしていたら、あっという間に感染が広がって、多分、この先、何もできなくなってしまうと思います。

苦しい毎日が続きますが、実は、難しいことではありません。

学校帰りに寄り道をしていませんか？ お友達と遊ぶ時、マスクを外していませんか？ お友達の家に入っていないですか？ そういった、感染防止を忘れて勝手気ままなことさえしなければ、安全が守られます。

明日も笑顔でいられるように、みんなでがんばりましょう。